

#子どもたちの 五輪動員を中止 して下さい

日本共産党

問題
山積

学校連携観戦

◆東京五輪・パラリンピックに東京都だけで90万人、葛飾で3万人の児童・生徒を動員

◆公共交通機関で3密が避けられない競技会場に連れていく

◆感染防止を図りながらの教員らの引率の負担増

◆マスク着用による熱中症のリスクの増加も考慮されていない

◆5月に作成するとしていた「観戦の手引き」もいまだ完成せず

東京では、再びコロナ感染のリバウンドが始まる中で、東京五輪・パラの観戦に子どもたちを動員する大会組織委員会の計画に不安の声が広がっています。

葛飾で3万人の子どもを動員

日本共産党の調査で、組織委が主導する「学校連携観戦」は全国で最大128万人を動員し、東京都だけで90万人、葛飾区では区立小学校49校、中学校24校、幼稚園2園の児童・生徒・園児29,849人、引率者2,127人、合計31,976人が対象になっていることが分かりました(学校ごとの動員予定は裏面)。

党国会議員団が追及

日本共産党は国会で「これだけの子どもをコロナ禍に移動させ、会場に集中させるのか。仮に無観客開催となった場合、連携観戦はやめるのか」とたどしました。スポーツ庁は「観客数や感染症対策に関する検討を踏まえ、組織委で検討される」と述べ、まともに回答しませんでした。

都議団、区議団が中止を要請

党東京都議員団は、6月21日に、知事と都教育庁あてに、学校連携観戦の中止を要請。党葛飾区議団は6月23日に、直ちに中止・辞退することを区長に要望しました。党区議団の要求で観戦動員予定一覧が公開されました。

目黒区や文京区では中止を決めています。

オリンピックより命が大切です。「子どものオリンピック観戦動員は中止」の声をひろげましょう。

7.4の選択

五輪より命が大切 子どもの観戦動員は中止

この願いは、日本共産党の女性現職に託してください